

みんなで考える

防災ハンドブック



倉敷市立真備中学校
生徒会執行部

はじめに

平成30年7月6日の西日本豪雨災害により、私たちの住む真備町では、多くの尊い命が失われ、家や学校、道路や農作物など様々な物やたくさんの人が甚大な被害を受けました。

災害は、「とき・ところ・ひと」を選びません。被害を最小限に抑えるためには、行政の対応（公助）のみではなく、自分の命は自分で守る（自助）、自分達の地域や人を自分達で守る（共助）という心構えをもち、日頃から災害に備えることが大切です。

真備中だからこそできること

私たち真備中学校生徒会執行部は、被災した経験がある私たちだからこそできる、防災・減災を考えました。

「あの時もっとこうしていれば…。」「いろんな状況を想定した避難訓練をしていれば…。」と後悔しても、大切なものは戻ってきません。

この防災ハンドブックは、災害に関する基本的な知識に加え、災害時の注意点、防災食や避難先リストなど、「自助・共助」に役立つ、様々なノウハウを掲載しています。また、過去の災害の記憶を、日々の防災へ役立てて頂けるよう、当時の体験談や、今後みなさまに、考えて欲しいことを分かりやすくまとめています。

倉敷でおこり、甚大な被害をもたらした西日本豪雨が、みなさまの記憶や、災害の記録として残り続け、将来の災害に備えることができますように…。

知っているかな？警戒レベル

警戒レベル	避難情報	とるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険！ 今すぐに見の安全を確保を！
4	避難指示	全員退避しているはず…
3	高齢者等避難	中学生はここで避難しよう 近所の人と声をかけあおう
2	大雨・洪水・高潮 注意報	避難のスイッチオン いつでも避難できるようにしておこう！
1	早期注意情報	気象情報をこまめに確認しておこう
0		

レベル4までに避難完了

普段の生活





-いざとなったら逃げられる場所-
あなたにはありますか。

自分専用

避難先カード

を作ってみよう

避難場所

洪水

津波

地震

土砂

Step 1

場所をかこう

*洪水のときはどこに行く？津波は？

Step 2

家族と話をしてみよう

*道が混雑してしまうこともあるよ。
裏道がないかも確認してみよう。

行ったことがある
場所かな。

掛かる時間は？

距離は
どのくらい？



西日本豪雨 体験談



話題のツイート

最新

アカウント

画像

動画



吉備☆真備 @kibi_mabi

強い雨が3日くらい続いて、水位がどんどん上がってくるのが怖かった。私の家にもたくさんの方が避難してきて、お互いに助け合った。



真備ハナコ @mkb_hnk

祖父が1人で家に残され動けないので、お父さんが助けに行っていた。お父さんが家に居ない間不安で寂しかった。



たけのこ大好き @takenoko_love

床下浸水で終わるかな？と思っていたから、自分の大切なものを全て机の上に置いて逃げた。

その時は、命が第一優先だと思って最低限の荷物だけ持って逃げたけど、今になって「あれも持って行けばよかった。逃げる準備をしておけば良かった。」と後悔している。



たけ まもる @mamorun_tk

最初は「警報でてるやったー！学校休みだ！」と思っていた。次の日にニュースで町が浸水したことを知った。知っている建物が浸かっているのをテレビで見て、知らない町のように信じられなかった。学校はその日から夏休みになった。友達のことが、すごく心配だった。夏休みが明け、友達と会えた時にはほっとした。



実は私たち、

こんなことに

困ってました!



17:55



< ma-chu_official



既読
0:03

断水で毎日学校まで水を取りに行くのが大変だった



防災リュックの中に水は入っているかな？

既読
0:03

連絡がつかなかった



繋がらなくても避難できるように避難所を確認しておこう！

既読
0:04

避難するのが遅く、車が止まってしまった



避難するタイミングを確認しておこう！

既読
0:06

大切なものがすべて水に浸かってしまった



命の安全が最優先だけど、すぐに持ち出せるようにしておこう！

<避難所に持っていく物リスト>

- ☐ スマホ
- ☐ ライト
- ☐ ラジオ
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 予備のバッテリー(乾電池)



- ☐ 衣類
- ☐ タオル
- ☐ 軍手
- ☐ レインコート



- ☐ 薬
- ☐ 生理用品
- ☐ 水のいらないシャンプー



- ☐ ティッシュ
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ ポリ袋



- ☐ マスク
- ☐ アルコール消毒



- ☐ 非常用食料
- ☐ 水(2Lくらい)



- ☐ お金(小銭)
- ※お札は濡れると
かさばる。



夏

- ☐ 帽子
- ☐ 叩くと冷える保冷剤
- ☐ ハンディ扇風機



冬

- ☐ ブランケット
- ☐ カイロ
- ☐ 防寒着



<知っておくと便利な事>

スマホ：圏外になっていたり、Wi-Fiが繋がらないから
使えないと考えておくと良い。

長靴：雨が降っている場合は長靴の中に水が入り、
重くなるため動きづらくなる可能性がある。
そのため、履きなれている靴を履くと良い。

災害時、あなたは大丈夫ですか。

連

絡手段

安

否確認

2018年におきた
西日本豪雨災害では...



インターネットが
つながらなくて困ったな。

離れ離れになった時
連絡がとれなくて
心配だったな...



1. 携帯電話を持っていても、使えないことがある。
2. 連絡手段を改めて確認しておこう。
3. 大切な人の電話番号を覚えおこう。

[携帯電話が使える場合]

↓ 災害用伝言ダイヤル「171」

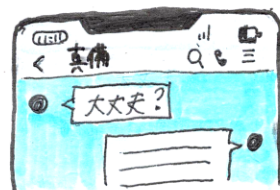
方法

声の録音

「171」→「1」→ 電話番号を入力

声の再生

「171」→「2」→ 電話番号を入力



LINEやメールで連絡 ↑

↓ LINEの安否確認機能

大規模災害の発生に

併い、LINEのホームタブに

LINE 安否確認が表示されます。

安否の状況を教えてください



無事



被害あり

家族の電話番号覚えてますか?



電話番号

()

()

()

()

コメント

自宅にいます

避難場所にいます

避難所にいます

あとで返信します

職場にいます

学校にいます

塾にいます

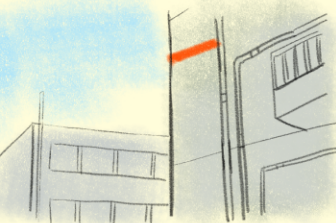
電池がなくなりそうです

キャンセル

安否を報告

オレンジライン

真備中学校には、校舎にオレンジのラインがあります。このラインは、小田川の堤防の高さを示しています。西日本豪雨の時には、実際にオレンジラインの少し下まで水がきました。



被災したあの日、真備中学校の生徒の中には「西日本豪雨の前に学校で行った避難訓練の時にオレンジラインの説明を受けていた。家でニュースを見ていると、特別警報へ変わった。避難する時には、学校のオレンジラインを見て、ラインより上へと思って逃げた。」と、話す人もいました。

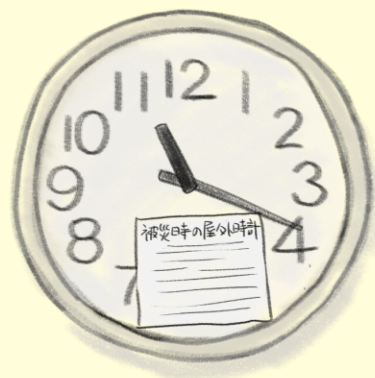
止まったままの時計

西日本豪雨の時、今私たちが過ごしている真備中学校の校舎は2階部分まで浸水しました。教室にあった教科書やノート、使っていた机や椅子も全て流されてしまいました。体育館の床は波打ち、ピアノは使えなくなり、部活で使用していたボールやバットも全て泥だらけになっていました。

校舎が使用できなくなったため、倉敷芸術科学大学で1ヶ月過ごし、真備東中学校に建つ仮設校舎で過ごしました。そして、2年経ちやっと真備中学校の本校舎に戻ってきました。

右の時計は針が止まったまま動いていません。これは、被災時に真備中学校の校舎の壁面に掛かっていた時計です。今も止まったままの状態で見備中学校に保管されていますが、あまり知られていません。

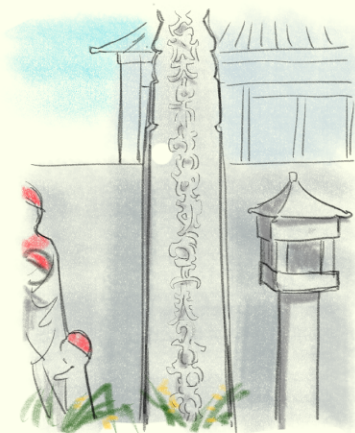
災害の記録を使って後世へ繋ぎ、次くる災害に備えていくためにも、災害を伝承する方法を考えていきたいです。



歴史から学ぶ



真備町にある源福寺には、過去の水害の記録を残す石碑があります。今回、私たち真備中学校生徒会執行部は、なぜこの石碑が建てられたのかを住職の方に聞きに行きました。



真備町は明治26年9月に台風の襲来により、家ごと流されるほどの大洪水があったそうです。その時の洪水では死者が200人以上にも及びました。

災害後、死者への弔いと、災害を記録として残しておこうという思いから、源福寺に石碑が建てられました。この石碑は、西日本豪雨の時にも、石碑が数センチ顔を出すくらい浸水をしていたそうです。

風化させないために

みなさんは、自分の住んでいる地域の過去の災害を知っていますか？西日本豪雨で被災した真備町は、上記でもあったように明治26年に台風襲来による大洪水がありました。この大洪水による被害は相当のもので、後世へ伝えていこうと、真備のお寺には石碑が建てられています。

しかし、明治26年の洪水を知っている人はほとんどおらず、西日本豪雨の時にも活かされていません。

災害による犠牲者を増やさないためにも、過去に起こった災害を風化させないことは、とても大切です。

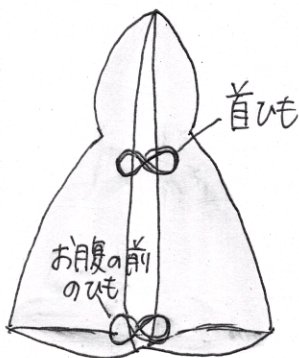
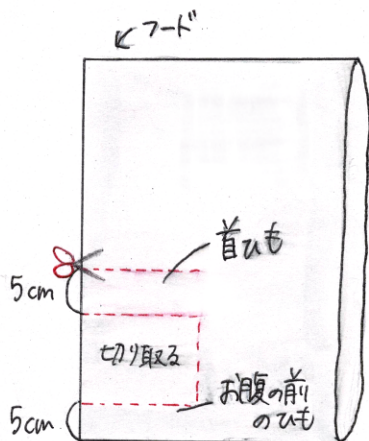
家族や友達など、皆さんの周りにいる人と防災について話し合い、防災グッズなどを備えておいてください。自分の命、大切な人の命を自分たちで守るようにしていきましょう。



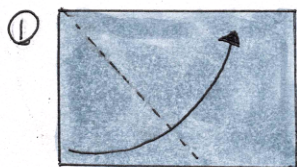
雨が降っても大丈夫！

ビニール袋でカッパ作り！

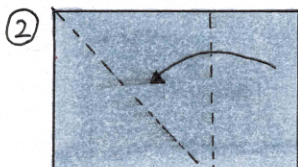
- 用意するもの：ゴミ袋（45リットル）、はさみ 



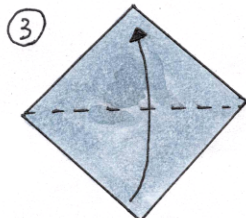
新聞紙でつくるコップ！



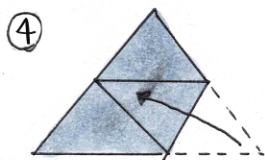
新聞紙を正方形に折る。



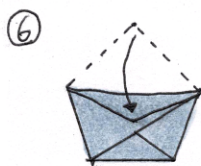
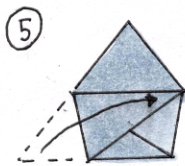
折った三角形を開く。



三角に折る。



端を中に入れ込む。



上の三角をおろす。

ビニール袋をはめれば...



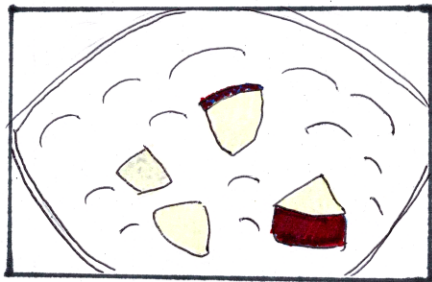
完成!!

災害の時でもご飯が炊ける!!

—簡単非常食—

60秒

芋ご飯



(用意するもの(1人分))

・さつまいも△半分

・ご飯△1合

・調味料(塩 など)△適量

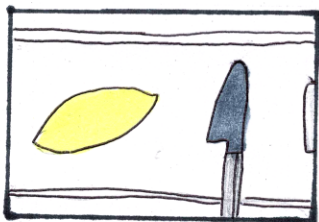
・ビニール袋△1袋

(作り方)

① 米を研ぐ。

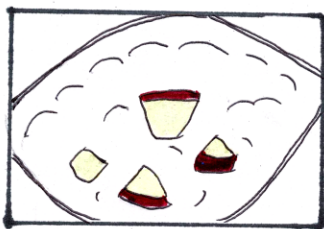
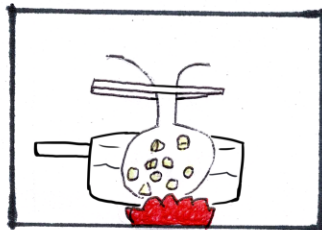


② イモの皮をむき、③ 水加減をして調味量
を切る。 入れたら密封する。



④ ご飯を炊く。
(15分)

⑤ 芋ご飯完成



ビニール袋に入れて
炊くので少々濡れた
水でも作れます。



倉敷市の中学生の皆さんへ

皆さんこんにちは、倉敷市立真備中学校の生徒会執行部です。私たちの住む真備町は、2018年の西日本豪雨で被災し多くのものを失いました。あの日から4年が経ち、私たちは今修復された校舎へと戻り楽しい学校生活を送れています。

私たちは、復興していく真備町に暮らす中で、「中学生の私たちができることは何だろう。」と考え話し合いを続けてきました。「もう二度と自然災害によって大切な人やものを奪われたくない。」そんな思いから完成したのが、このみんなで考える防災ハンドブックです。いつ起こるか分からない自然災害から自分を守る、大切な人を守る。そのために、自分の住んでいる地域の特徴や過去の災害を「知る」、これからの災害への準備に「活かす」、そして多くの人の命を救うために「伝える」ことが重要だと思います。

私達が目標にしているのは、災害時に中学生が一人で居る時でも、素早く判断し行動できるようになることです。

この防災ハンドブックを通して一人でも多くの人が防災・減災について考えるきっかけとなれば嬉しいです。私たちの思いが皆さんに伝わり、皆さんがハンドブックを活用して災害時に活かす。もしも、また倉敷市で災害が起こったときには、大切なものを守れますように・・・。

おわりに

あの日から4年が経過しました。しかし、地球規模の気候変動による自然災害が、その後も各地で起きています。大地震が起きることも予想されています。あの出来事を教訓とし、平時の今こそ準備期間と心得て、次の災害に備えなければなりません。

被災直後から、本校生徒会のメンバーは「被災した自分たちだからこそできる発信しよう」と構想を温めてきました。少しずつイメージを形にして、この度冊子を完成させることができました。少しでも多くの方に手に取っていただき、防災減災に対する意識を高めていただけたらと思います。初版につき、ご感想やアップデートのためのアイディア等をお寄せいただけると幸いです。

作成・出版にあたり、温かいご支援・ご協力を賜りました倉敷芸術科学大学メディア映像学科 松田 博義先生、早井様、八津川様、馬様、大西様をはじめ関係者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

倉敷市立真備中学校長 小山 治子

